

社会資本総合整備計画

「地域の交流と経済活動の活性化を支えるみちづくり」の事後評価

●委員

- ✓ 交通量と混雑度の変化について、H17とR3の間も同様の傾向か。
- ✓ 慢性的な渋滞と書いているが常にこのような状態か。
- ✓ 費用便益分析で時間短縮効果はどのように見込んでいるのか。

○事務局

- ✓ H22, H27ともに同様の傾向である。
- ✓ 特に混雑している状況を撮影しているが、混雑度が1を超えているということは、供給量に対して需要が上回っており、渋滞が生じる状況にあるということを示している。
- ✓ 将来の交通量を予測し、それに基づいて時間的価値と交通量から時間短縮便益を算出している。

●委員

- ✓ 1分や2分の短縮を成果指標としているが、これだけでは事業の効果を示す指標としては弱いのではないかと思う。
- ✓ 歩道整備なら安心につながるなども記載できると思うし、必ずしも定量的ではないかもしれないが、そういった効果も説明したほうがいいのではないか。

○事務局

- ✓ ご指摘の点をふまえて今後の対応を検討していきたい。

●委員

- ✓ 国道422号の土砂崩れの写真があったが対応はしたのか。

○事務局

- ✓ 別事業で土砂を撤去して復旧している。

●委員

- ✓ コスト縮減について0.7億円はどのように算出したのか？この現場の事例か？

○事務局

- ✓ 在来工法と比較した縮減額であり、この現場の事例である。

●委員

- ✓ 道路幅などが事業ごとに異なるが基準はあるのか。

○事務局

- ✓ 自動車、歩行者および自転車の交通量などによって県で定めた道づくりマニュアルに基づき、幅員や構造を決定している。

●委員

- ✓ P25では、背景や要因を示そうとしているのか、それとも事業による効果を示そうとしているのか。

○事務局

- ✓ 現時点でバイパスは完成していないので、事業による効果を示すものではない。
- ✓ 主要な事業として選定している事業は、事業採択後に一定時間を経過しているため、現時点で事業実施の必要性について大きな変動はないということを示すための資料として掲載している。

●委員

- ✓ 事業費の60億円はどのような方法で算出しているのか？

○事務局

- ✓ 現在価値化する前の事業費であり、現時点で投資済額と将来の投資予定額の合計額で算出している。